

令和7年度 後期 学校評価（教職員用）

内容	A評価人数		ご意見	対策
	R7前期	R7後期		
1 児童は、「主体的・対話的に学ぼう」としている。 (教育目標)	3	◎8	・対話力の向上に伴い、主体性も向上している。 ・授業者側の工夫によって主体的対話的に学ぼうという意識になると思っており、頑張ります。	
2 児童は、「心豊かに未来を切り拓こう」としている。 (教育目標)	3	◎7		
3 児童は、元気に挨拶している。(ひまわり憲法)	5	7	・廊下ですれ違う時、挨拶ができる児童とできない児童に差がある ・個人差、学年差がある。常に意識して指導していく必要がある ・教師も進んでお手本を示す。 ・高学年にももっと元気を出させたい。	・挨拶をしない児童に、名前を呼び、挨拶を返さないといけない状況を作る。 ・なぜ挨拶が必要なのか各担任から話をする。 ・大人が大きな声で元気に挨拶をする姿を見せる。(低学年児童を見習う)
4 児童一人一人の理解に努め、鍛えて伸ばそうとしている。	9	10	・道徳議にならないように気を付けています。	
5 豊かな人間性と確かな指導力向上に努めている。	8	9	・毎週金曜のミニ研修で、授業について語っている姿が素晴らしいなと思います。いつもありがとうございます。	
6 児童、保護者、地域住民から信頼されている。	5	◎8	・教育ウィーク期間の授業参観に人数が少なかったように思う。内容も含め再考する必要があるかもしれない。 ・こちらからの発信が大切だと思うのですが、今学期お便り等を作成する回数が減ってしまいました。(自分自身のことです)	
7 個別最適な学び・協働的な学びを一体化した授業(単元)の確立に努めている。	7	6	・教科・単元によっては難しいものもある。 ・もっともっと子どもたちに委ねる場面が増えてきたらいいと思います。 ・努めているが、日々悩みながら行っている状態です。	・現状の課題を話し合っ、3学期に向けてどんな改善をしていくのか、研究主任を中心に決めていく。
8 朝自習や乗Tや暗唱活動の指導に継続的・計画的に取り組んでいる。	9	8	・乗Tタイムが欠けることが多く、計画的な指導が難しい。 ・(条件作文について)年度当初に英検対策の期間があることを見越して条件作文の計画を立てればよかったと反省しています。 ・乗Tタイムを使っていたことが他にもたくさんあると思うため、来年度は見直しが必要だと思います。 ・行事等が重なって朝自習や乗Tタイムの確保がなかなかできず、取り組みたいことがあまりできなかった。とても余裕がなかった。	・3学期は余裕を持った取り組みとなるよう、各担当が教務主任と協力して早めに計画を立てて周知する。
9 保護者と連携し、宿題等の充実に積極的に取り組んでいる。	7	5	・宿題が提出できない児童の保護者に見るように伝えてもなかなか続かない。 ・子ども親も教師も、みんなで家庭学習をする、させる意識を高めていかなければいけない。出したか出していないかを親は本当に分かっているのか気になる。	・授業で「わかったこと」を「できる」にするために、宿題は必要なものであることを児童に説き、励まして取り組ませる。また、成功体験を積み上げることも大切なので、児童にタブレットをどこまでするの目標をたてさせて取り組むなど、工夫していく。 ・引き続き、家庭にも呼びかけていく。
10 「主体的・対話的で深い学び」につながる授業改善に努めている。	9	9	・きまっし授業や対話のミニ研修を通して、授業改善が実践できている。 ・他学年の対話動画等を見ることができて対話のイメージが分かってきた。 ・学校研究の取組、いつもご協力いただいていたありがたいです。 ・対話についてのミニ研修会がたくさんあったので、どうしたらよいか話し合うことができました。	
11 ICT教育・英語教育に計画的に取り組んでいる。	9	10		
12 Chromebookを活用した指導に積極的・計画的に取り組んでいる。	10	10		
13 「考え、議論する道徳」の授業づくりに努めている。	5	◎9		
14 学校・学級の課題の解決策を実践することを通して、「主体性」を育てている。	9	10		
15 児童の人間関係づくりの充実に回り、いじめや不登校の未然防止に取り組んでいる。	9	10		
16 ベル学・黙働清掃・先挨拶の指導に取り組んでいる。	7	9	・ベル学の意識が弱くなっているように思う。学習目標として取り組むとよい。	・ベル学を徹底する。
17 夢や希望を持ちながら頑張る児童の育成に取り組んでいる。	8	8	・何のために勉強をするのか理由を説明しても納得いかない表情を見せるときがある。	
18 「チャレンジカード」「体カアップ 校 プラン」「スポチャレ石川」に計画的に取り組んでいる。	4	◎7		
19 家庭や地域等と連携して、食育・健康教育・安全教育に取り組んでいる。	5	7		
20 働き方改革を意識して仕事に取り組んでいる。	2	◎6	・働き方改革として、今年度は学級事務や会議等の時間を確保するために乗T保Tタイムをカットしたり、Go5で早期退勤を啓発したり、水曜日課を変えたりした。また、通知表のレイアウトの変更や週案では評価規準の流し込みができるC4thに切り替えるなど、様々な工夫や対策を講じてきた。業務改善に関するアンケートを全職員からとり、業務改善チームを発足できたことも大きな前進である。	
21 校務分掌は、組織的、協働的に取り組んでいる。	5	◎8	・学校報の係を振り分けていただいていたありがたいです。後は、GIGAの仕事も少しずつ周りに伝えていきたいと思います。	
22 若手教員早期育成プログラムや各種校内研修を通して、教師の指導力の向上に努めている。	8	10		
23 学校だよりや学級だより等を通して積極的な情報発信に努めている。	10	10	・教師による地鳴りも、学校の取組等をお伝えするよい機会となっている。 ・自分自身はあまりお便りを出すことができなかった。	